

2014年度 学校評価報告書

(自己評価・学校関係者評価及び次年度方針)

2015年7月23日

同志社香里中学校・高等学校

学校評価委員会

はじめに

学校教育法及び同施行規則に基づき、本校において学校評価を実施するため、2015年3月、中学2年の生徒と保護者（生徒及び保護者の計419名）、高校2年の生徒と保護者（生徒及び保護者の計477名）、本校教職員（計65名）を対象に「学校評価アンケート」を配布し、同年6月に結果を集約しました。この文書は本校の学校評価委員会が分析したものです。

本校は同志社大学の系列校として、中高一貫の独自の教育を行い、同志社教育の基本であるキリスト教主義に基づいた良心教育、自由主義、国際主義をさらに発展すべく努力しています。

今回の学校評価は本校の現状及び課題を再認識する契機として位置づけ、本校が大事にしてきた教育内容が連綿として守られているかを検証する上で大いに役立つものといえます。

また、そのことがステークホルダーである生徒、保護者、他の学校関係者に対する説明責任の一環として位置づけられ、教育の質の保証を確固たるものとするために、さらなる改善に役立てていきます。

1. 建学の精神

1874年、帰国した新島は、国内外の多くの人の協力を得て1875年に京都に「同志社英学校」を設立。キリスト教にもとづいた教育をおこない、「自治自立の精神」と高度な国際感覚、そして良心をあわせもつ日本国民の育成をめざしました。以来、同志社には「一国の良心」でありたいと願う若者が全国から集い、新島の志を受け継いで社会へと羽ばたいています。

(1)キリスト教主義

いかに生きるべきかを考え、あたたかい心を養います。自らの人生を築いていくための指針を得る学習機会としてキリスト教主義教育を実践しています。日々の礼拝や聖書の授業、また市民団体と連携したボランティアやユニセフへの協力など、社会とも関わりながら学びます。

(2)自由主義

自分で考え、判断し、行動する。自立心を育む学びを展開しています。同志社香里の学習制度は、生徒が自ら主体的に学び、これからの人生を考えていけるように設計されています。少人数制の教育やキャリア教育などで自由に学び、生徒一人ひとりが可能性を大きく伸ばせるように導きます。

(3)国際主義

世界を知り、国際社会を生きるために本当に必要なことを学びます。新島襄が世界に目を向けて学んだことから同志社が生まれた伝統を重視し、わたしたちは広く世界について学ぶ国際主義を教育の柱としています。多彩な国際交流の機会を通じて、国際人に必須となる共生の心を養います。

2. 教育目標

(1)同志社スピリットにあふれる「良心」の人を育みたい

自治自立の精神をもち、良心のもとに行動できる人。それが同志社人の姿です。言い換えれば、自分で考えて判断し、信念をもって前進していく人。また、人の痛みを知り、自らの力を世の中のために役立てる人——。わたしたちはそうした「同志社スピリット」にあふれる人を育てていきたいと考えています。

「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を土台にした同志社香里の教育は、まず第一に確かな基礎学力を育むものです。学ぶ力があってこそ未来を主体的に切り拓いていけるという考えから、週6日制のカリキュラムをはじめ、学力強化につながる先進的な学習制度を用意しています。

(2)家族のような仲間たちとともに同志社人として成長していこう

同志社の根幹となるキリスト教精神を学ぶ聖書の時間や、活躍する社会人に学ぶキャリア教育、ほかにもボランティア活動や国際イベントへの参加など、人間としての成長をうながす教育機会を豊富に設けています。伝統的に活発なクラブ活動も、よき学びの場の一つ。目標の実現に向けて全力を尽くす経験から、学べるものは決して少なくありません。

受験勉強にとらわれないで学ぶ豊かな時間は、多感な若者にとって人生の大きな糧となるでしょう。また、個性豊かな仲間たちと切磋琢磨するなかで、強くなっていく同志社人としての絆は、生涯の大切な財産になると思います。個性と学力と可能性を大きく伸ばし、同志社香里でともに大きく成長することを願っています。

3. 2014年度(平成26年度)の学校目標

建学の精神の具現化を目指し、本校の教育目標の達成を図るため、2014年度(平成26年度)は以下の内容を重点目標に掲げて、教育活動に取り組みました。

(1)同志社スピリットに根ざした個性溢れる仲間づくり

(2)同志社スピリットに根ざした国際性豊かな人材の育成

(3)同志社スピリットに根ざした生きる力を育む確かな学力の修得

(4)地域・家庭との連携を深め、分掌・学年・教科の協働体制の構築

■2014年度(平成26年度) 学校目標と具体的方策及び評価指標

評価項目	具体的方策	方策の評価指標
仲根同 間ざ志 づし社 くたス り個ビ 性リ 溢ッ れるに	聖書を学ぶ時間を通し、キリスト教主義の理解を深める	同志社スピリットの柱である「キリスト教主義」の理解度が70%以上
	行事(文化祭、体育祭など)を通じて、一人ひとりの個性を發揮するとともに、お互いを尊重する風土を醸成する	行事、生徒会、部活の満足度70%以上。学校が楽しい、友人関係がよいが70%以上
	個性に応じた特別教育(部活動など)の場を設け、一人ひとりの個性を伸ばす活動の場を提供する	部活動の種類が多く、参加率70%以上。施設・設備を充実させ、満足度が70%以上
な根同 人ざ志 材し社 のたス 育国ピ 成際リ 性ッ 豊ト かに	海外留学、海外語学研修、海外修学旅行を通して、国際理解を促進するとともに、国際社会への興味関心を深める	海外渡航経験者(修学旅行を含む)が全校生徒の50%以上。国際理解教育に注力しているとの評価が70%以上
	海外提携校との交流を促進することによって、日常の学校生活のなかで国際理解を深め、国際人としての素養が身につくようにする	毎年、留学生を受け入れ、在校生との交流を図っている
	コミュニケーションツールとしての英語教育に力を入れ、読む、書く、聞く、話す能力を授業や課外の活動によって習得できるようにする	英会話の授業時間を確保し、英検取得を推奨する。高校卒業時で英検準2級取得率を70%以上とする
得育根同 むざ志 確し社 かたス な生ピ 学きリ 力るッ のカト 修をに	授業を基本に据え、基礎学力の向上を図る。併せて家庭学習による主体的学びの習慣を身につけ、読書等によって教養が広がるようにする	授業評価(わかりやすい、工夫、納得)が70%以上。家庭学習と読書の習慣定着率50%以上
	表現する機会(文化祭、探究発表など)を通じて、主体的に学び、自分の考えを発表する能力が身につくようにする	学年もしくは全校レベルでの表現・プレゼンテーションする機会を提供する
	高大連携によって、将来の仕事や学問に対する興味関心の喚起を図り、進路選択を考える機会を提供していく	同志社大学に関する情報提供を行い、高大連携授業を実施する
の年を地 構・深域 築教め・ 科・家 の分庭 協掌と 働・の 体学連 制携	地域活動への積極的参加を促し、保護者に対する情報発信の頻度を高め、教育活動の理解を促進する	ボランティア活動の参加を推奨し、PTA等の連携を図る。家庭向けの情報発信を積極的に行う
	分掌、教科、学年会議を定期的実施し、課題解決に向けて迅速な対応をする	教員からの評価で、協働体制ができているとの評価70%以上
	学校評価を通じて、今年度の重点目標のPDCAサイクルを構築する	学校評価の実施と情報公開を行っている。学校評価委員会による点検の実施、課題の抽出、情報公開の評価が70%以上

4. 2014年度（平成26年度） 学校評価アンケート結果と分析

学校評価を行うにあたり、中学2年の生徒と保護者、高校2年の生徒と保護者、そして教員を対象に「学校評価アンケート」を実施しました。アンケートは、総合満足度、学校生活、生徒指導、学習指導、進路指導について質問しています。

(1) 総合満足度

総合満足度は「ロイヤリティ」（本校を友人・知人にすすめますか）と「満足度」（本校に入学してよかったですか）の平均値で算出しています。保護者と教員の「満足度」は、お子様もしくは生徒が（「入学してよかったですか」）の評価となっています。生徒、保護者、教員すべての総合満足度は、肯定的評価が90%前後と高い水準を示していました。

(2) 中学校

中学校の領域別評価をみると、学校生活、学習指導について、三者（生徒、保護者、教員）は概ね高い評価をしており、70%以上が肯定的評価となっています。生徒指導について、生徒と教員がやや低く、30%強が否定的評価となっており、課題がみられました。三者すべての評価が低かったのが進路指導でした。保護者がとりわけ低く、半数が否定的評価となっており、早急な改善が必要といえます。

(3) 高等学校

高等学校の領域別評価をみると、学校生活、生徒指導、学習指導について、生徒と保護者は概ね高い評価をしており、70%以上が肯定的評価となっています。生徒はすべての領域で70%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。保護者も概ね満足度は高い様子が伺えますが、進路指導について否定的評価が30%強あり、課題がみられました。進路指導は保護者と教員の評価が低く、留意すべきものといえます。

(4) 学校生活について

中学生は、修学旅行、体育館・グラウンド・冷暖房などの施設・設備は90%以上が肯定的評価と高くなっています。学校は楽しく、友人関係もよいと85%以上が肯定的評価をしており、充実している様子が伺われました。文化祭、体育祭、部活動も80%以上が肯定的評価

と高い水準になっています。他方、同志社スピリットの理解はやや低く、30%強が否定的評価でした。

高校生は、学校生活について、ほとんどの項目で高い満足度を示しています。学校は楽しく、友人関係もよい、との肯定的評価が90%以上と高くなっています。行事関係も肯定的評価が高い傾向を示し、文化祭、体育祭、修学旅行、生徒会、部活動は肯定的評価が75%以上、修学旅行は90%以上と高い水準を示しています。体育館、グラウンド、冷暖房、トイレなどの施設・設備の肯定的評価も90%以上と高い水準を示しています。

中学と高校の保護者は、すべての項目で高い満足度を示しています。学校が楽しく、友人関係もよい、との肯定的評価が90%以上、行事関係も文化祭、体育祭、修学旅行、生徒会、部活動の肯定的評価が80%以上と高い傾向を示しています。体育館、グラウンド、冷暖房、トイレなどの施設・設備の肯定的評価は90%以上と高い水準を示しています。

教員は、すべての項目で高い評価をしています。学校が楽しく、友人関係もよい、との肯定的評価が90%以上と高い水準を示しています。行事関係も文化祭、体育祭、修学旅行、生徒会、部活動は肯定的評価が80%以上。文化祭、修学旅行、部活動は肯定的評価が90%以上と高い水準を示しています。体育館、グラウンド、冷暖房、トイレなどの施設・設備も肯定的評価が90%以上と高い水準を示しています。

(5) 生徒指導について

中学生は、全体としてはやや低い傾向を示しています。挨拶、遅刻、身だしなみ、先生方の協力、携帯モラル、男女平等、緊急時の連絡網は、70%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、親身な対応、人権教育、秘密を守る、事件・地震対応は30%強が否定的評価をしており、より丁寧な対応が必要といえます。

高校生は、項目によって評価が分かれます。挨拶、身だしなみ、親身な対応、先生方の協力、携帯モラル、人権教育、男女平等、秘密を守る、緊急時の連絡網は、70%以上が肯定的評価となっています。他方、遅刻、事件・地震対応について否定的評価が30%以上あり、課題がみられます。

中学の保護者は、概ね肯定的評価が多い傾向を示しています。挨拶、遅刻、身だしなみ、親身な対応、先生方の協力、携帯モラル、人権教育、男女平等、秘密を守る、緊急時の連絡網は、70%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、事件・地震対応について、否定的評価が30%以上あり、留意すべきものといえます。

高校の保護者は、ほとんどの項目が肯定的評価となっており、満足度が高い様子を示しています。遅刻、身だしなみ、先生方の協力、携帯モラル、人権教育、男女平等、秘密を守る、緊急時の連絡網は、80%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺われます。他方、事件・地震対応について、否定的評価が40%あり、課題がみられます。

教員は、項目によって評価が分かれます。親身な対応、秘密を守る、男女平等について、肯定的評価が90%以上と高くなっています。他方、遅刻、事件・地震対応は50%以上が否定的評価となっており、課題がみられます。挨拶、先生方の協力、携帯モラル、人権教育、男女平等について、70%以上が肯定的評価となっており、概ね十分な様子が伺われます。生徒の挨拶、身だしなみ、緊急時の連絡網は30%強が否定的評価となっており、留意すべきものといえます。

(6) 学習指導について

中学生は、項目によって評価が分かれます。授業のわかりやすさ、教材の工夫、国際理解教育、理科教育、情報教育、教え方の工夫、質問しやすさ、努力を認める、評価基準の明示について、70%以上が肯定的評価となっています。

高校生は、概ね肯定的評価が多くあります。授業のわかりやすさ、大学進学の話、教材の工夫、国際理解教育、理科教育、情報教育、教え方の工夫、努力を認める、評価基準の明示について、70%以上が肯定的評価となっています。質問しやすさはやや低い傾向があり、留意すべきものといえます。

中学の保護者は、項目によって評価が分かれます。教材の工夫、国際理解教育、理科教育、情報教育、教え方の工夫、努力を認める、評価基準の明示について、70%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、授業のわかりやすさ、大学進学の話は40%強が否定的評価となっており、よりキメ細かい対応が必要といえます。

高校の保護者は、項目によって評価が分かれます。大学進学の話、教材の工夫、国際理解教育、理科教育、情報教育、努力を認める、評価基準の明示について、70%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、授業のわかりやすさ、教え方の工夫について、30%が否定的評価をしています。

教員は、一部の項目を除き概ね高い評価となっています。授業のわかりやすさ、教材の工夫、国際理解教育、理科教育、情報教育、教え方の工夫、質問しやすさ、努力を認める、評価基準の明示について、80%以上が肯定的評価となっています。

(7)進路指導について

中学生は、ほとんどの項目で否定的評価が多くなっており、課題がみられます。進路に関する行事について、50%前後の生徒が否定的評価となっており、早急に検討すべき課題といえます。相談しやすさや資料の整備も40%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

高校生は、一部に否定的評価はあるものの、概ね肯定的評価が多い傾向を示しています。同志社大学への進学情報、個別相談は80%強が肯定的評価となっています。目標設定について否定的評価が30%以上あり、留意すべきものといえます。

中学の保護者は、すべての項目で否定的評価が多くなっています。進路に関する行事について50%以上の保護者が否定的評価となっており、早急に検討すべき課題といえます。また、同志社大学への進学情報について60%弱は肯定的評価であるものの、けして高い水準とはいえず、よりキメ細かい対応が必要といえます。さらに相談しやすさや資料の整備も40%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

高校の保護者は、やや否定的な評価がみられ、留意すべきものといえます。同志社大学への進学情報は80%強が肯定的評価をしており、十分な様子が伺えます。目標設定、個別相談は70%強が肯定的評価となっています。進路に関する行事、資料の整備について、30%以上の保護者が否定的評価となっており、留意すべきものといえます。

教員は、項目によって評価が分かれます。同志社大学への進学情報は90%が肯定的評価をしており、十分な様子が伺えます。目標設定、個別相談は70%強が肯定的評価となっています。進路に関する行事、資料の整備について、30%以上の教員が否定的評価となっており、課題がみられます。進路指導の行事や資料について40%前後の教員が不足を感じていることは、今後の課題として留意すべきものといえます。

■資料(2014年度 学校評価アンケート結果)

(単位:%)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		学校に行くのが楽しい	この学校には、他の学校にない特色がある	同志社スピリットの「キリスト教精神の実践」「国際主義」を知っている	本校の友人関係はよいと思っている	文化祭は楽しく行えるよう工夫されている	体育祭は楽しく行えるよう工夫されている	修学旅行は楽しく行えるよう工夫されている	生徒・自治会活動は活発である	部活動に積極的に取り組んでいる	体育館やグラウンドは十分な広さがある	冷暖房設備が整備されている	トイレはいつも清潔に保たれている
中学・生徒	そう思う	56.8	58.5	19.1	45.3	51.7	43.2	64.0	30.9	58.1	80.1	67.4	41.1
	どちらかといえばそう思う	30.5	30.5	44.9	43.2	35.6	37.7	28.8	44.5	25.4	12.7	23.7	36.9
	どちらかといえばそう思わない	8.5	6.8	25.4	6.8	8.9	15.7	3.8	17.8	6.4	2.5	5.5	16.5
	そう思わない	3.8	3.4	8.9	4.2	3.4	3.0	2.5	6.4	9.7	3.4	2.5	5.1
	無回答	0.4	0.8	1.7	0.4	0.4	0.4	0.8	0.4	0.4	0.4	1.3	0.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	そう思う	52.3	50.2	26.8	50.6	40.6	33.5	53.6	32.2	52.7	78.7	72.8	71.1
	どちらかといえばそう思う	38.1	44.8	46.9	41.8	45.6	44.8	39.7	46.0	30.1	16.3	21.8	26.4
	どちらかといえばそう思わない	7.5	4.6	21.3	5.0	11.7	17.2	4.2	16.7	10.5	4.2	5.0	2.1
	そう思わない	2.1	0.4	4.6	2.5	2.1	4.6	2.5	4.6	6.3	0.8	0.4	0.4
	無回答	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	そう思う	63.9	34.4	24.6	43.2	54.1	32.8	59.0	27.3	62.8	83.6	80.3	56.8
	どちらかといえばそう思う	30.6	50.8	56.3	50.8	41.0	49.2	36.1	60.1	31.7	14.2	18.6	35.5
	どちらかといえばそう思わない	3.8	13.1	16.9	4.4	4.4	16.4	3.3	10.4	3.3	1.1	0.5	6.6
	そう思わない	1.1	1.1	0.5	0.5	0.0	1.1	0.5	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
	無回答	0.5	0.5	1.6	1.1	0.5	0.5	1.1	2.2	0.5	1.1	0.5	1.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	そう思う	51.3	35.3	33.6	55.0	51.7	42.4	55.5	29.0	61.3	81.9	79.8	58.4
	どちらかといえばそう思う	39.9	50.0	47.9	39.1	39.5	44.1	36.6	55.9	33.2	14.3	16.4	35.7
	どちらかといえばそう思わない	6.7	12.2	15.1	3.8	7.1	11.8	5.9	12.2	4.2	2.1	1.7	3.8
	そう思わない	0.4	0.4	2.1	0.4	0.4	0.4	0.8	0.8	0.4	0.4	1.3	0.4
	無回答	1.7	2.1	1.3	1.7	1.3	1.3	1.3	2.1	0.8	1.3	0.8	1.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	そう思う	40	24.6	21.5	21.5	44.6	32.3	44.6	38.5	75.4	86.2	84.6	66.2
	どちらかといえばそう思う	22	63.1	50.8	72.3	52.3	52.3	49.2	46.2	21.5	9.2	13.8	26.2
	どちらかといえばそう思わない	1	10.8	23.1	3.1	1.5	13.8	4.6	12.3	1.5	1.5	0.0	6.2
	そう思わない	0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	1.5	1.5	3.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	3.1	1.5	1.5
	合計	65	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
		生徒は挨拶をよくしている	生徒は遅刻をしないほうだ	生徒は正しい身だしなみ(頭髪、服装など)をしている	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い	先生は協力して生徒指導にあたっている	携帯電話やインターネットなどの利用におけるモラルについて学ぶ機会がある	人権について学ぶ機会がある	学校で、男女は平等に扱われている	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる	事件・地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている	緊急時の連絡網はしっかり整備されている	授業はわかりやすい	大学進学の話をする先生が多い	手づくりの教材やプリントを使う先生が多い
中学・生徒	そう思う	28.8	25.4	25.8	18.2	26.3	33.5	23.3	28.8	24.2	25.4	28.8	19.9	23.7	50.0
	どちらかといえばそう思う	47.0	50.0	49.2	47.9	47.5	39.4	42.4	44.5	44.5	43.2	43.2	59.7	39.0	38.1
	どちらかといえばそう思わない	17.4	20.3	19.1	20.3	16.9	21.6	25.8	17.8	18.6	22.0	21.6	14.8	28.0	7.6
	そう思わない	5.9	3.8	5.5	13.1	8.1	5.1	7.6	8.5	11.0	8.5	5.5	4.7	8.9	3.8
	無回答	0.8	0.4	0.4	0.4	1.3	0.4	0.8	0.4	1.7	0.8	0.8	0.8	0.4	0.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	そう思う	24.3	14.2	21.3	23.4	23.4	21.8	28.9	40.2	33.5	14.6	18.8	18.0	33.9	31.0
	どちらかといえばそう思う	55.2	46.9	53.1	51.9	56.1	55.6	59.4	47.7	53.1	48.1	59.4	65.3	48.1	59.0
	どちらかといえばそう思わない	17.2	36.4	21.8	23.4	18.4	20.9	10.9	9.6	12.6	29.3	17.6	14.2	15.9	8.8
	そう思わない	2.9	2.5	3.8	1.3	2.1	1.7	0.4	2.1	0.8	7.9	3.8	1.7	1.7	0.8
	無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.8	0.4	0.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	そう思う	31.1	39.3	35.5	21.3	29.5	25.7	27.3	47.0	45.4	16.9	41.0	9.3	6.6	32.2
	どちらかといえばそう思う	52.5	50.3	50.3	54.6	48.6	51.9	53.6	43.2	45.9	49.2	48.1	59.0	51.4	51.9
	どちらかといえばそう思わない	13.1	5.5	12.6	14.8	14.2	15.3	14.8	7.1	5.5	29.0	8.2	26.8	33.3	13.7
	そう思わない	2.2	1.1	1.1	6.0	4.9	5.5	2.2	2.2	2.2	2.2	1.1	3.8	4.9	0.0
	無回答	1.1	3.8	0.5	3.3	2.7	1.6	2.2	0.5	1.1	2.7	1.6	1.1	3.8	2.2
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	そう思う	26.9	33.6	33.2	23.9	25.2	21.8	23.9	42.0	37.0	14.7	35.7	13.4	18.5	17.2
	どちらかといえばそう思う	49.2	46.6	55.9	53.8	55.5	58.4	63.0	52.9	52.1	46.2	51.7	56.3	57.6	57.6
	どちらかといえばそう思わない	21.0	16.0	8.8	18.9	16.0	18.5	8.4	3.8	8.8	30.7	10.5	27.3	19.7	20.2
	そう思わない	1.3	0.0	0.4	2.1	1.3	0.4	1.7	0.0	0.0	4.2	0.4	1.3	0.8	0.0
	無回答	1.7	3.8	1.7	1.3	2.1	0.8	2.9	1.3	2.1	4.2	1.7	1.7	3.4	5.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	そう思う	20.0	6.2	6.2	30.8	18.5	27.7	20.0	44.6	27.7	4.6	15.4	13.8	21.5	49.2
	どちらかといえばそう思う	64.6	55.4	61.5	63.1	56.9	50.8	56.9	46.2	63.1	33.8	46.2	72.3	56.9	44.6
	どちらかといえばそう思わない	13.8	35.4	27.7	4.6	18.5	16.9	18.5	6.2	6.2	49.2	32.3	13.8	16.9	4.6
	そう思わない	0.0	1.5	3.1	0.0	4.6	3.1	3.1	1.5	0.0	10.8	4.6	0.0	3.1	0.0
	無回答	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	3.1	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位:%)

		27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
		異文化体験などを通しての国際理解教育が充実している	実験・実習・観察など理科教育が充実している	パソコンなどを活用した授業や情報教育が充実している	教え方に工夫をしている先生が多い	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる	評価の仕方や基準について、事前に示されている	進路に関して明確な目標・夢が持てる指導がされている	同志社大学への進路に関する情報が十分に提供されている	進路選択に役立つ行事や講演会などが充実している	進路に関して個別の相談に丁寧に応じてくれる	進路について調べたいときに、必要な資料・設備が整っている	知り合いや先輩に本校への入学をすすめますか	この学校に入学してよかったと思いますか
中学・生徒	そう思う	20.3	44.5	44.9	29.7	31.8	32.2	34.3	16.1	24.6	9.3	14.8	16.5	53.0	64.4
	どちらかといえばそう思う	50.4	43.6	39.0	44.5	39.8	41.5	43.2	48.3	41.9	37.7	41.5	41.1	35.6	27.1
	どちらかといえばそう思わない	23.7	8.9	11.4	19.9	20.3	18.6	16.9	28.8	26.7	40.3	30.5	33.5	6.4	4.7
	そう思わない	4.7	2.1	3.8	5.1	7.2	6.4	4.2	5.5	5.1	11.4	11.4	6.8	3.0	1.7
	無回答	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.3	1.3	1.3	1.7	1.3	1.7	2.1	2.1	2.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	そう思う	27.6	33.9	35.6	24.7	25.5	29.3	26.4	17.2	29.3	18.8	23.8	18.0	47.7	68.6
	どちらかといえばそう思う	49.0	53.1	54.0	56.1	43.9	51.0	54.8	52.7	62.3	56.1	56.5	53.6	36.8	23.8
	どちらかといえばそう思わない	22.2	12.1	9.6	17.2	27.6	18.8	16.7	28.5	7.1	22.2	18.0	25.9	10.9	5.0
	そう思わない	0.8	0.4	0.4	1.7	2.5	0.4	1.7	1.3	0.8	2.5	0.8	2.1	3.3	1.3
	無回答	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	0.4	1.3	1.3
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	そう思う	25.1	29.0	30.1	14.2	18.6	27.9	23.0	10.4	16.9	7.1	10.9	8.7	42.1	63.9
	どちらかといえばそう思う	48.1	55.7	55.2	56.8	52.5	56.3	50.3	48.6	42.1	44.3	47.5	49.2	48.6	30.1
	どちらかといえばそう思わない	22.4	9.8	11.5	23.0	21.9	10.9	23.0	36.1	31.7	36.6	30.1	29.5	7.1	3.8
	そう思わない	1.6	1.6	0.5	2.2	4.4	3.3	1.6	1.6	6.6	9.3	6.6	6.6	0.0	0.0
	無回答	2.7	3.8	2.7	3.8	2.7	1.6	2.2	3.3	2.7	2.7	4.9	6.0	2.2	2.2
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	そう思う	29.4	20.6	20.2	14.3	22.7	26.1	18.1	17.2	28.2	14.3	15.5	11.3	46.6	65.5
	どちらかといえばそう思う	54.6	54.2	57.1	55.5	51.3	56.7	58.4	56.3	55.5	54.2	58.0	57.1	45.8	29.0
	どちらかといえばそう思わない	13.4	20.2	18.1	23.9	20.6	14.3	20.2	23.5	14.3	27.7	21.0	25.6	4.2	3.4
	そう思わない	0.4	0.4	0.4	1.3	2.9	0.0	0.0	0.8	0.4	1.3	2.1	2.5	1.3	0.4
	無回答	2.1	4.6	4.2	5.0	2.5	2.9	3.4	2.1	1.7	2.5	3.4	3.4	2.1	1.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	そう思う	29.2	46.2	23.1	33.8	33.8	27.7	33.8	12.3	36.9	13.8	18.5	13.8	38.5	52.3
	どちらかといえばそう思う	64.6	50.8	64.6	61.5	55.4	63.1	52.3	58.5	53.8	52.3	63.1	43.1	49.2	47.7
	どちらかといえばそう思わない	1.5	1.5	10.8	3.1	9.2	7.7	12.3	26.2	7.7	29.2	16.9	40.0	10.8	0.0
	そう思わない	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	3.1	0.0	1.5	1.5	0.0
	無回答	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 2014年度(平成26年度) 自己評価及び次年度の課題と改善策

【自己評価】 A:達成できた B:概ね達成できた C:やや課題を残した D:課題を残した

評価項目	具体的方策	評価	活動実績	次年度の課題と改善策
た同 個 志 性 社 益 ス ル ビ ル リ 仲 ツ 間 ト づ く 根 ざ し	聖書を学ぶ時間を通し、キリスト教主義の理解を深める	B	聖書に触れ、教員の講話を聞き、真理について考える礼拝の時間を設けている。礼拝は週2回のショート礼拝と隔週のロング礼拝を実施。ただし、生徒の理解度はまだ60%弱とやや課題を残している。	現在も正課の授業として聖書を学んでおり、礼拝とともに今後も充実した内容の改善を図っていく。
	行事(文化祭、体育祭など)を通じて、一人ひとりの個性を発揮するとともに、お互いを尊重する風土を醸成する	A	生徒が企画から運営までを手掛け、チームワークや主体性を育成するものとして5月の体育祭、10月の文化祭を実施している。生徒の満足度も高く、90%以上が肯定的評価となっている。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。企画、運営を生徒に任せ自主性を重んじていることが成功の要因といえ、今後も生徒主体の運営を推奨していきたい。
	個性に応じた特別教育(部活動など)の場を設け、一人ひとりの個性を伸ばす活動の場を提供する	A	運動部が18、文化部が18あり、部活動は活発だと生徒・保護者ともに90%以上が評価しており、充実しているものと評価できる。施設・設備の満足度も高く、一人ひとりの個性に応じた活動ができてきているものといえる。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。一部の部活は海外に遠征しており、国際交流の経験の場となっている。今後も海外を視野に入れて活動も今後は検討していきたい。
た同 志 際 社 性 ス 豊 ピ か り な ツ 人 材 に の 根 育 ざ 成 し	海外留学、海外語学研修、海外修学旅行を通して、国際理解を促進するとともに、国際社会への興味関心を深める	A	海外研修のプログラムとして、夏期語学研修ニュージーランド・カナダ、春期語学研修ポストン・イギリス、サンフランシスコ・NUEVA交流、短期留学(オーストラリア、ハワイ)を提供している。修学旅行を含め、人数としては全校生徒の80%が海外渡航経験者となっている。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。海外経験のある生徒数はすでに十分な水準であるので、今後は、研修や旅行の内容を吟味して、より国際理解が進むようプログラムの充実を図っていく。
	海外提携校との交流を促進することによって、日常の学校生活のなかで国際理解を深め、国際人としての素養が身につくようにする	A	海外からの留学生が現在2人在籍しており、在学生との交流を深めている。その他、サッカー部はイングランドへ、ラグビー部はオーストラリアへ遠征に行くなどして交流を行っている。	今後は、海外からの留学生の受け入れを促進するとともに、同志社大学に在籍する留学生等との交流も視野に入れた展開も検討していく。また、こちらから海外へ留学する生徒の支援も今後も引き続き注力していく。
	コミュニケーションツールとしての英語教育に力を入れ、読む、書く、聞く、話す能力を授業や課外の活動によって習得できるようにする	B	自分の思いを英語で伝えることを目的に、英語スピーチコンテスト「THE SMALL PLANET」を開催。日常的にはネイティブによる授業を6年間実施。高校卒業時100%が英検準2級以上を取得。	英語スピーチコンテストの参加者の裾野を広げるよう、日常の授業のなかで意識的に指導をしたり、ネイティブの授業を中心に、自分の意見を英語で表現できるよう基礎能力の修得に努めていく。
力た同 の生 志 修 き 社 得 る ス カ ピ を リ 育 ツ む ト 確 に 根 な ざ 学 し	授業を基本に据え、基礎学力の向上を図る。併せて家庭学習による主体的学びの習慣を身につけ、読書等によって教養が広がるようにする	C	授業のわかりやすさは中高ともに80%前後が肯定的評価である。家庭学習は中学・高校ともに平均1時間未満が半数を占め、課題を残している。加えて新聞や本を読む習慣の定着率も低く、今後の指導改善が急務といえる。	学年や教科において、家庭学習の習慣化を図るよう適切な課題や確認テストを充実するよう工夫していく。また、現状も実施している補習を引き続き注力していく。
	表現する機会(文化祭、探究発表など)を通じて、主体的に学び、自分の考えを発表する能力が身につくようにする	B	表現する機会としては文化祭や英語スピーチコンテストが主たるものである。ただし、参加者や発表者は限られた生徒となっており、また回数も年1回と少ない。	現状、行事としての機会提供は文化祭や英語スピーチコンテストであるが、参加者の裾野の拡大を図るとともに、日常の授業においても意識的にプレゼンテーション能力向上の機会創出を図っていく。
	高大連携によって、将来の仕事や学問に対する興味関心の喚起を図り、進路選択を考える機会を提供していく	C	同志社大学の学部説明会は高3生に実施しており、内容の理解度は十分といえる。他の学年では情報不足となっており、課題を残している。中学の保護者は40%が否定的評価となっている。	同志社大学に関する情報提供を高3のみでなく、より早い時期から情報提供をしていく。また、中高6年間を通じて、将来の仕事等も視野に入れたキャリア教育の内容の充実にも努めていく。
働め地 体・域 制分・ の掌 家 構・庭 築 学と 年の ・連 教 携 科を の深 協	地域活動への積極的参加を促し、保護者に対する情報発信の頻度を高め、教育活動の理解を促進する	B	主としてボランティア部が中心となって、PTAと協力して地域の清掃活動や福祉・児童施設への訪問活動を積極的に実施している。また、海外にも活動を広げておりラオスに学校建設の募金活動も行った。	地域活動やボランティア活動の啓蒙を行い、参加する生徒の裾野の拡大を図っていく。生徒会・自治会、PTA、学年会等での情報発信に努めていく。
	分掌、教科、学年会議を定期的に実施し、課題解決に向けて迅速な対応をする	C	分掌、教科、学年の各会議は定期的に実施しており、各組織内で情報や課題の共有化に努めている。ただし、実施頻度や討議内容については、不十分との評価もあり、課題を有している。	教員の兼務が多いため、個々の分掌、教科、学年における集合討議や協働の時間がとれない場合がみられることから、今後は業務の整理と優先順位を勘案して、課題解決に取り組んでいく。
	学校評価を通じて、今年度の重点目標のPDCAサイクルを構築する	B	毎年、学校評価委員会を設置して、生徒、保護者、教員のアンケート調査を実施している。調査結果を基に自己評価を行い、ホームページに公開している。	毎年、自己評価を実施しており、今後はPDCAサイクルの内容がより充実するよう管理職、学校評価委員会を中心に改善を図っていく。

6. 2014年度(平成26年度) 学校関係者評価の結果

PTA役員5名と同志社大学の北川雅章先生の計6名によって学校関係者評価をして頂きました。全体としてはA評価(達成できた)を頂きました。教育課程・学習指導を除くすべての領域がA評価でした。教育課程・学習指導はA評価とB評価あ半々でした。他の領域でB評価は1~2名いましたが、C評価とD評価はありませんでした。6名の平均値は以下のとおりとなります。

【学校関係者評価】 A:達成できた B:概ね達成できた C:やや課題を残した D:課題を残した

評価領域	内容	評価	コメント(複数の回答者)
1.建学の精神、教育目標	・内容は伝わっていますか ・目標は達成されていますか	A	内容は良く伝わり、目標はほぼ達成されていると評価します。よく伝わっています。先生方のアドバイスはとても役立ちます。
2.教育課程・学習指導	・学習内容(授業)は十分ですか ・学習指導(授業)は十分ですか	B	学習により集中し、大学進学の方がさらにつくよう指導されることを期待します。よい授業はたくさんあります。ただ、数学はわかりにくい授業があると母様がたできません。公欠をした際の補習をしてください。
3.キャリア教育(進路指導)	・キャリア教育の内容は十分ですか ・キャリア(進路)指導は十分ですか	A	先生の知識をより豊富にし、仕事や学問の情報を伝えて、生徒が目標設定しやすくなるよう期待します。現状の指導で十分です。
4.生徒指導	・生徒の規律、マナー等は十分ですか ・生徒指導は十分ですか	A	通学マナーの向上を指導されるよう期待します。少し厳しいような気がします。
5.保健管理	・生徒の健康への配慮は十分ですか ・相談対応は十分ですか	A	担任以外への相談もしやすくなるよう期待します。
6.安全管理	・危機管理対応は十分ですか ・施設、設備の安全管理は十分ですか	A	通学路の安全、事件・地震対応などの向上を期待します。
7.情報提供・公開	・保護者への連絡は十分ですか ・HPなど学校情報の発信は十分ですか	A	生徒、教員と保護者の意識がそれほど乖離していないことは評価されます。
8.保護者、地域住民等との連携	・保護者との連携は十分ですか ・地域との交流は十分ですか	A	地元自治体や香里園駅周辺の地域と交流があると聞いていますが、詳細な交流状況は不明です。メール連絡が便利だと思います。
9.教育環境整備	・施設、設備は十分ですか ・教育環境は十分ですか	A	整っていると評価します。
10.総合評価	・上記の全体的な評価	A	個別には今後の課題も散見されますが、生徒や保護者の満足度が高く、全体として高く評価できます。子どもは楽しく通学させて頂いています。

7. 学校評価(自己評価・学校関係者評価)を踏まえた次年度方針

同志社香里中学校・高等学校 校長 福田 耕治

2014年度は、同志社スピリットに根ざした個性の伸長・国際理解・確かな学力・協働体制の4つを重点目標として教育活動に励んできました。生徒、保護者、教員の三者を対象とする学校評価アンケートを実施し、それを基に学校評価委員会による自己評価、PTA役員及び同志社大学教員による学校関係者評価をして頂きました。アンケートや学校評価の結果及び提案を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきます。

1. 学校全体の印象や総合満足について

- (1)生徒は学校に楽しく通い、他校にない特色ある教育を実施していると、生徒、保護者、教員の三者が高く評価しています。今後も引き続き、このよい校風を堅持していくよう努力していきます。
- (2)そのためにも、同志社教育の柱であるキリスト教主義に基づいた良心教育、自由主義、国際主義を軸にして、生徒の理解促進のために年齢に応じた指導方法の工夫を心がけていきます。

2. 教科・学習指導について

- (1)「授業のわかりやすさ」について、保護者からやや厳しい評価を受けており、さらなる改善を心がけ、教科及び学年の相互連携により満足度の向上に努めていきます。
- (2)併せて、家庭学習及び読書指導を今後とも継続して行い、学年や教科を軸に課題の提出や推奨図書を提示するなどの工夫をして、さらなる改善に努めていきます。

3. 進路指導について

- (1)今回の学校評価で最も評価が低く、期待が大きい領域が進路指導でした。そのため、中学生や高校生のそれぞれの成長段階に応じた指導内容の改善に努めていきます。
- (2)同志社大学の情報提供を早期に実施し、キャリア教育と併せて早い段階での意識付けに配慮していきます。

4. 組織運営について

(1) 教員間、教員・職員間の密接な連携を促進するため、会議の充実を図り、円滑なコミュニケーションができるようマネジメントの工夫を重ねていきます。

(2) 非常時対応(事件や事故、地震や災害など)や危機管理について評価が低い傾向にあり、内容の見直しを図り、生徒及び保護者への啓蒙・理解の促進を図っていきます。

以上の内容を踏まえて、2015年度(平成27年度)は以下のような教育改善PDCAサイクルを回すよう努力していきます。

■2015年度(平成27年度) 教育改善PDCAサイクルのイメージ



テーマ1: 進路指導(キャリア教育、大学情報提供)の見直しと改善
テーマ2: 確かな学力の修得
テーマ3: 組織運営の改善(情報の共有化、協働体制の確立)



進路指導⇒6年間の系統だった指導、同志社大学の情報提供の早期化
確かな学力の修得⇒主要教科内での討議、学年間での討議、課題の提供・読書指導
組織運営の改善⇒仕事量の改善、スキルアップ研修の推奨



進路指導⇒学校評価アンケートの実施
確かな学力の修得⇒全国模試・学力テスト等の活用
組織運営の改善⇒業務量調査、スキルアップ研修等の実施及び参加状況



進路指導 ⇒ 中学段階からの進路指導、同志社大学への進学情報の提供
確かな学力の修得 ⇒ 授業改善の促進、家庭学習の習慣化の促進
組織運営の改善 ⇒ 校内外研修の実施と内容の改善